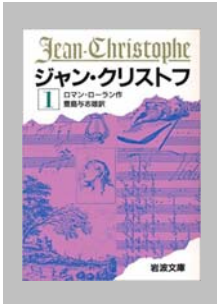


第18回

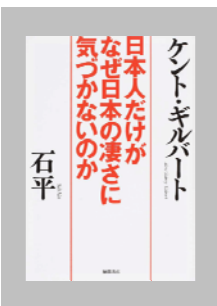


A 『ジャン・クリストフ』

ロマン・ローラン／作 豊島与志雄／訳 岩波文庫 1986年 500円(+税)

ISBN: 4-00-325551-8

ライン河畔の貧しい音楽一家に生れた主人公ジャン・クリストフは、人間として、芸術家として、不屈の気魄をもって生涯真実を追求しつづける。この傷つきつつも闘うことを決してやめない人間像は、時代と国境をこえて人びとに勇気と指針を与えてきた。偉大なヒューマニスト作家ロマン・ローランの不朽の名作。



B 『日本人だけがなぜ日本の凄さに気づかないのか』

ケント・ギルバート・石平／著 徳間書店 2017年 1000円(+税)

ISBN: 978-4-19-864461-1

長年日本に暮らす米国出身のケント・ギルバートと中国出身の石平が、お互いの日本観はもとより、隣国である中国と韓国の本質や、同盟国であるアメリカの思惑など、日本をとりまくさまざまな状況について縦横に論じ合う。



C 『学問』

山田詠美／著 新潮文庫 2012年 630円(+税) ISBN: 978-4-10-103626-7

「私ねえ、欲望に忠実なの。愛弟子と言ってもいいね」4人の少年少女たちの、生と性の輝き。いつもそこにある、かすかな死の影。高度成長期の海辺の街を舞台に、若者たちが過ごした時間を官能的な言葉で描く長編小説。



D 『銀河鉄道の夜』

宮沢賢治／作 小林敏也／画 パルル舎(画本宮沢賢治) 2017年 1900円(+税)

ISBN: 978-4-89419-008-7

宮澤賢治の代表作にして、画本宮澤賢治シリーズの中でも屈指の作品。100ページに及ぶ場面を精緻なスクラッチ技法で描き上げており、『銀河鉄道の夜』を見事に視覚化した作品です。

チャンプ本



E 『100歳の少年と12通の手紙』

エリック=エマニュエル・シュミット／著 阪田由美子／訳

河出書房新社 2010年 1200円(+税) ISBN: 978-4-309-20552-6

10歳で余命12日と宣告されたオスカー。1日を10年と考えて生きて、神さまに1日1通の手紙を書くとした少年が、残されたわずかな日々で見つけた人生の意味とは…。2010年11月公開映画の原作。